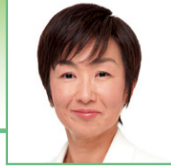


地域共生社会の展開 重層的支援をどう進めるのか

稲橋 ゆみ子 (立憲民主・たちかわ)



問 コロナ禍で、様々な制約の中、市民一人ひとりに寄り添いきい状況が生まれています。今まで表面化していなかった課題が浮き彫りになり、公的機関に求められる役割がより重要になると考えます。多様な主体が参画し、世代や分野を超えてつながら地域共生社会に向けて、重層的支援を進めるためにどのように対応していくのか。また、地域福祉コーディネーターは大変多忙な活動をしており、複数配置を求めてきましたが、令和4年度はどうなりますか。

答 介護・高齢、障害、子ども・子育て、生活困窮といった様々な相談事業と地域づくり事業を連携して行うとともに、新規に多機関協働事業、アウトリーチ事業、参加支援事業を実施し、関係機関と連携しながら相談支援を実施するための担当課を新たに設置します。また、地域福祉コーディネーターは、高齢者の居場所や社会参加等の場づくりを行う役割を兼務し、各圏域2名への体制強化を検討しています。

一般質問項目 ①コロナ禍ですすめる「地域共生社会」の展開について ②地域資源を活かしたまちづくりについて ③まちづくりとして公共施設を次世代に活かすために！！ ④2050年二酸化炭素排出ゼロを目指す立川市の取組みは？

自宅療養者医療支援事業 実現したことを評価

上條 彰一 (日本共産党)



問 オミクロン株の感染急拡大で、1日の新規感染者数が2月6日には全国で10万人を超えるなど、深刻な事態が続いています。本市でも小・中学校や保育園等で感染者が相次ぎ、自宅療養者数も増加しています。第5波では、多くの方が医療を受けられずに自宅で亡くなりました。その後、私たちが提案した、自宅療養者を放置しないための医療支援事業が実現したことを評価しています。この事業の実施状況について市の見解を伺います。

答 本市における自宅療養者は最高時で1,500人程度まで増えたと認識しています。1月24日から開始した自宅療養者医療支援事業については、2月22日までに1,653人の自宅療養者の方に健康観察等の連絡を行っているところです。市で行うこの自宅療養者の医療支援事業については、かなり効果があったものと認識しており、今後もこうした市の単独の施策を展開していきたいと考えています。

一般質問項目 ①新型コロナ「第6波」から市民の命と暮らしを守る対策について ②国民健康保険について

自殺対策 遺族の支援の取り組みは

くばた 学 (NHKから国民を守る党)



問 自殺で家族や大切な人をなくした遺族へのケアや支援について、まだまだ多くの課題があります。市はどのような取り組みが必要と考えていますか。また、不動産所有者や鉄道会社等からの賠償請求、インターネット上の悪意ある書き込みなど、遺族の心身への負担や金銭的負担は計り知れません。市では、こうした遺族へのフォローにどのように取り組んでいますか。今後は自殺総合対策推進本部で遺族の意見を交えた議論や研究をしていただきたい。

答 近隣市の取り組みとして、遺族の孤立防止等の支援を行う団体と連携し、自死遺族の方同士が感情や体験を語り合い、支え合う場の提供を定期的に行っている事例があるので、本市も近隣市や支援団体と連携した取り組みを進めていきたいと考えています。また、遺族からの具体的な相談は市に寄せられておりませんが、そのような状況になったときは、関連する相談部署につないでいきたいと考えています。

一般質問項目 ①立川市の自殺対策について

栄町の地区図書館設置 今後どう検討していくのか

伊藤 幸秀 (公明党)



問 図書館がない栄町では、図書館設置の強い要望があります。かつて図書館協議会で示された栄町への設置について見解を伺います。また、第3次図書館基本計画では、図書館の適正配置について引き続き検討するとしていますが、どのように進めるのか。このままでは永遠に棚上げになりそうです。平成10年の図書館協議会では図書館の偏在について熱心な議論があり、その後も期待の持てる計画や議会答弁があったことを認識していただきたい。

答 新たな図書館の設置は困難ですが、図書館機能やサービス面でどのような対応を図れるか、公共施設の再編を進める中で議論をしたい。この地域は、平成31年度の市民ワークショップの検討を踏まえ、前期施設整備計画で令和10年までの建て替えや改修の方向性を示しました。ご指摘の点は、今後予定されている高松図書館・高松学習館の建て替えや令和11年以降の市民検討の際には留意していきたいと考えています。

一般質問項目 ①栄町の課題について ②これからの学校給食の考え方 ③不登校の課題 ④公園の禁煙化へ ⑤情報発信のあり方

陳情はこうなりました

①陳情を議会で採択

令和3年第4回定例会で、「同性パートナーシップの公的承認についての陳情」を採択

②市長に送付

③市長からの報告

令和4年度に東京都において同性パートナーシップ制度の導入が予定されているため、その動向を注視するとともに、同性パートナーシップ制度を導入した場合の運用方法を検討するために「多様な性に関する制度検討委員会」を設置し、第1回の会議を令和4年2月4日に開催いたしました。今後、民間も含めた運用上の課題についても検討してまいります。

令和4年 第2回市議会定例会 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
5/8	9	10	11	12	13	14
	本会議 一般質問			本会議 一般質問		
15	16	17	18	19	20	21
	本会議 議案審議等	総務 委員会				
22	23	24	25	26	27	28
	厚生産業 委員会	環境建設 委員会		文教 委員会	議会改革 特別委員会	
29	30	31	6/1	2	3	4
		議会運営 委員会		本会議 議案審議等		

※午前10時に開議予定
※傍聴については、お問い合わせください。
※第2回定例会で審議する請願・陳情の締め切りは4月26日(火)午後5時です。
お問い合わせ 議会事務局 ☎528-4343 FAX526-6369

お詫びと訂正

たちかわ市議会だより第324号(令和4年1月25日発行)5面の山本みちよ議員の一般質問記事「見出し」について、記載に誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

正	誤
聴覚障害者の災害対策	視覚障害者の災害対策

聞こえの支援 傍聴時に機器を用意しています



本会議・委員会の傍聴時に、ヘッドフォンタイプで音量調節できる補聴機器を用意しています。傍聴受付で貸し出しておりますので、どうぞご利用ください。